

「第2次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答一覧

No.	事業名等	質問	委員名	回答	推進課
06	小・中学校の教職員を対象とした男女共同参画に関する研修	・毎年、研修会を実施していますが、テーマを具体的に教えていただきたい。また、実施状況を評価欄に記入してください。	樋熊委員	「多様性を認め、差別のない社会をつくる ～発達障害、LGBTの理解～」 実施状況 6月9日(水)実施 参加者16名 参加者感想 ・様々な障害や最新事例の紹介をいただき大変勉強になった。関連サイト、HPもぜひ見てみたい。 ・自分自身の理解が深められた。子どもたちの理解が少しでも進むよう工夫していきたい。  「長岡市の人権教育、同和教育の現状と課題」 11月5日(金)実施予定 予定参加者数83名 学校教育における男女共同参画について研修します。また、各校の取組について情報交換を行います。	学校教育課
11	自治会役員への女性の参画促進	・女性町内会長を増やすための意識啓発活動をコロナ禍ではどうすべきだと考えますか。	石川委員	審議会でご説明します。	市民協働課
	自治会役員への女性の参画促進	・町内会市政なんでも相談会は、年何回くらい開催されますか。また、支所地域ではどのようになっていますか。 ・男女共同参画のパンフレット配布とありますが、どのようなものですか。特別に作成したのですか。	高橋委員	・町内会市政なんでも相談会は、長岡地域の町内会を対象に、令和元年度までは年2回開催していました。(令和2年度以降は感染防止のため中止しています。)支所地域では、相談会を開催しておりません。 ・男女共同参画のパンフレットは、本市の「第2次ながおか男女共同参画基本計画」(概要版)を配布していました。	市民協働課
	自治会役員への女性の参画促進	・長岡市男女共同参画社会基本条例では、市、市民、事業者の責務として男女共同参画社会の形成に努めるとある。平成29年度から5か年の評価で「町内会は自治組織のため、積極的な取組みは難しいが…」とあるが、この書き方であると前向きな取組みに見えない。実際、年ごとに女性会長が増えてきているので、「今後の方向性と課題」の《その理由と課題》の表記の方が積極的に意識啓発などに取り組まれていることがわかる。	樋熊委員	回答不要	市民協働課

「第2次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答一覧

No.	事業名等	質問	委員名	回答	推進課
12	コミュニティでの女性の参画促進	・コミュニティセンター職員の男女比をどう考えますか。女性が6割は多いですか。それとも少ないですか。	石川委員	審議会でご説明します。	市民協働課
	コミュニティでの女性の参画促進	・コミュニティセンター職員の男女比は記入されていますが、センター長の男女比はどのようになっていますか。	高橋委員	・令和3年度のコミュニティセンター長及び分館長は合計40人で、内訳は男性37人、女性3人です。(男性92.5%：女性7.5%)	市民協働課
14	農業分野での女性の参画促進	・農業まつりで豚汁をふるまうことが、男女共同参画にどのように関係しているのか説明してください。	石川委員	審議会でご説明します。	農水産政策課
	農業分野での女性の参画促進	・長岡市担い手育成総合支援協議会の委員数は全体で何人ですか。 ・農業分野の団体には、女性が少ないとありますが、No.17の女性グループとは異なるものでしょうか。	樋熊委員	・長岡市担い手育成総合支援協議会は、現在16組織の代表によって構成されていますので委員数は16人です。うち、女性の代表者は1人となっています。 ・上記の1名は、No.17のグループからの選出です。	農水産政策課
15	男女の均等な機会と待遇の確保【女性活躍】	・No.15、No.16、No.32は同じ内容の事業を行っています。そこで、No.15で取り組みが進んだ企業とあまり進まなかった企業との「差」は何ですか。「一定の成果があった」の「一定の成果」は何ですか。	樋熊委員	自社の働き方改革を進めるうえでの課題と対策が把握できている企業については、市の支援策である勉強会や研修会を活用いただき、取り組みが進んでいます。一方で、何が課題なのか把握できていない企業については、取り組みがあまり進まなかったものと考えます。 今後は相談員の企業訪問等を通じて、取り組みが進まなかった企業のフォローを進めていきます。 当市の「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」に賛同いただき、勉強会やコンサルティング、社内研修会を通じて、男女問わず長く働き続けられる職場環境づくりに取り組んでいただいたことは、一定の成果があったものと考えます。	産業立地課

「第2次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答一覧

No.	事業名等	質問	委員名	回答	推進課
16	女性活躍推進事業【女性活躍】	・No.15、No.16、No.32は同じ内容の事業を行っています。No.15では「計画を下回ったが一定の成果があった」とあり、No.16では「計画どおりの成果があった」とあります。評価の違いを教えてください。	樋熊委員	・No.15は男女が共にやりがいを持って能力に応じた働き方ができる環境づくりの意識啓発を、No.16は女性登用の必要性や男女が共に育児・介護など家庭生活に参画するための働きやすい環境づくりの意識啓発を目的としています。第2次計画策定後10年近く経過し、ご質問のとおり取組み内容が重複している部分がありますが、目的に沿った評価を行ったものとなっています。 No.15は、やりがいを持って能力に応じた働き方ができるよう環境づくりを進める企業が現れた一方、他の企業に取組みが広がらないため、左記の評価をしました。 No.16は、セミナーや交流会の開催により、女性登用の必要性や育児・介護など家庭生活への男女共同参画への意識啓発に成果があったと考え、左記の評価をしました。	産業立地課 人権・男女共同参画課
17	生き生き農ライフ支援事業【女性活躍】	・「継続」ではなくて「改善」が必要なのでは。	石川委員	審議会でご説明します。	農水産政策課
	生き生き農ライフ支援事業【女性活躍】	・令和元年度の事業計画だけに「～積極的な女性の登用や、意思決定への参画を促進し～後押しします。」とある。他の年度事業計画に記載がありませんがNo.17の事業では女性農業者の満足度は高く、成果がありました。農業への女性参画は少なくなってきたのでしょうか。	樋熊委員	・令和元年度以外は女性の参画促進に取り組んでいない訳ではなく、例年成果があった、またありそうな事業計画を記載させていただきました。	農水産政策課
18	家族経営協定の締結促進【女性活躍】	・「従来の家族農業経営を法人化し、役員として経営参画する事例もあった」とありますが、家族経営協定と違うところは何かですか。	樋熊委員	・農業を営む家族全員が、主体的に経営参画するために締結するものが家族経営協定です。これより更に進んで、定款や就業規則を定め法人組織として登記することが法人化です。	農水産政策課
	思春期・青少年相談	・相談窓口の統一の結果、相談件数・面談件数ともに2020年で数倍に増えています。今年もさらに増えています。この成果をもっとアピールしてもよいと思います。他の部署にも参考になるはずですよ。	石川委員	回答不要	学校教育課

「第2次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答一覧

No.	事業名等	質問	委員名	回答	推進課
25	思春期・青少年相談	<p>・「計画以上の成果があった」とのことで大変意義ある取組と思う。「男女共同参画」以前に個人としての肯定感をいかに持てるかが重要であり、「男女共同参画」推進の前提と考える。新潟では、自殺対策も課題となっており、当事業の一層の拡充を望む。本事業のニーズの高さが明らかになったが、今後、よりセーフティネットを広げるための周知方法や相談形態など新展開はあるか。</p>	小林委員	<p>・自傷、他害、希死念慮があるなどの深刻なケースについては、早期に臨床心理士が面談を行うこととしています。</p> <p>・臨床心理士が対応できる日を拡充し、今年度7月より週4日に増やしました。</p> <p>・臨床心理士の相談枠は限られており、依然不足がちなため、さらにセーフティネットを広げるための体制充実が課題となっています。</p> <p>・全相談ケースについて、受理面談で丁寧な聞き取りを行い、隠れたリスクも把握できるよう努めています。</p>	学校教育課
26	青少年育成活動	<p>・「華美な服装」云々は、まるで性被害にあうのは被害者側に問題があると言わんばかりの考え方です。改めてください。悪いのは加害者です。加害者の行為をとがめることなしに、被害者に「気をつけろ」というのは、あからさまな性差別です。さらに、終了との判断ですが、「活動が一定の役割を果たした」とはどういう意味か、説明してください。「一定の役割を果たした」というのは、その結果問題が解消したのでない限りは、翌年も続けて「一定の役割」を果たしていただかなくてはならないはずのものです。「一定の役割を果たした」ことは終了の理由にはなりません。</p>	石川委員	審議会でご説明します。	子ども・子育て課
	青少年育成活動	<p>・青少年の問題行動が減っているわけではなく、「街頭育成活動」がニーズにマッチしていないのではないか。No.25とも関連付け、青少年に向き合える施策を考えているか。</p>	小林委員	<p>・「子ども・青少年相談センター（No25）」や「長岡市出雲崎町PTA連合会」「地域コミュニティ組織の青少年部会」等の関係団体と連携しながら、時代に合った育成活動を模索しています。</p>	子ども・子育て課

「第2次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答一覧

No.	事業名等	質問	委員名	回答	推進課
27	介護予防事業	・参加者の伸び悩み、リピーターの増が指摘されているが、介護予防＝高齢者という枠組みにとらわれず、より幅広い（若年層、予備軍）にも関心が持てるようなアプローチにしてはどうか。「自分には関係ない」と思わせず、誰もが自分事としてとらえられるような「介護予防」事業を望みます。	小林委員	・これまでも、参加者を65歳以上に限らない講座の開催などに取り組んできましたが、今後も幅広いアプローチを目指していきたいと考えています。 ・また、健康課と連携し、地域健康づくりに取り組むことで、各世代への啓発を実施しており、今後も継続していきます。	長寿はつらつ課
	介護予防事業	・はつらつ広場48団体、介護予防サークル42団体の男女比を教えてください。	高橋委員	・令和2年度のはつらつ広場48団体の男女比は、「男性1（174人）：女性5（844人）」です。 ・令和2年度の介護予防サークル300団体（うち35団体に会場借用料に係る補助金を交付）の男女比は把握しておりません。	長寿はつらつ課
32	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）や男女共同参画の情報提供【女性活躍】	・No.15、No.16、No.32は同じ内容の事業を行っています。No.32は、No.15、No.16の再掲事業ですが、対象者が若者（大学生、高専生）での評価は「成果がある」です。「女性活躍推進」と「ワーク・ライフ・バランス」の考え方は、雇用主、労働者、若者の三者では異なるということでしょうか。参加した男女比はわかりませんが、男女でも異なるということでしょうか。	樋熊委員	・ワーク・ライフ・バランスの推進は、雇用主、労働者それぞれに対する働きかけと、これから社会に出ていく若者への教育が欠かせないと考えており、人権・男女共同参画課と商工部が連携して取り組んでおります。学生に対しては、2つの大学の学生にセミナーを行い、アンケートでは高い満足度となりました。  ・雇用主、労働者それぞれを対象とした調査等を行っているわけではありませんが、働き方改革相談員による企業ヒアリングの中では、残業時間の削減や、男性の育児休業取得促進等を通じてワーク・ライフ・バランスの充実を進めていかなければならないと感じているものの、環境整備がなかなか進められていないと感じている様子が伺えます。対面型での勉強会等では、アンケートの徴収等により参加者の満足度やワーク・ライフ・バランスに関する意識やを伺うことができていましたが、令和2年度は新型コロナウイルス禍により、YouTubeでの勉強会の配信など、一方的な情報発信となってしまったため、「一定の成果があった」と評価しました。	人権・男女共同参画課 産業立地課
39	コミュニティ推進事業	・男性を対象とした料理教室等を開催することにより、男性の地域活動への参画のきっかけとなるのは良いことですが、きっかけだけでよいのでしょうか。	高橋委員	・まずは教室等への参加をきっかけに地域活動に興味を持っていただき、地域の実情に応じて、今後、活動への参画が必要であれば参加できる方にお声かけするなど、地域で工夫・検討していく必要があると思います。	市民協働課 人権・男女共同参画課

「第2次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答一覧

No.	事業名等	質問	委員名	回答	推進課
43	ファミリー・サポート・センター事業【女性活躍】	・会員養成講座の延べ参加人数が少しずつ増えてきているのは、女性が働き続けるために必要な事業だということと思う。貧困家庭（ひとり親家庭だけでなく）は自己負担分の支払いはできなくなることもある。その対応は、どの様にしていますか。	樋熊委員	子育て世帯の負担を軽減するため、市内に住民票のある利用者については、利用料の一部を助成しています。（1時間当たり700円のうち200円を助成）	子ども・子育て課
55	DV防止の意識啓発の推進と相談窓口の周知	・DV相談とコロナの因果関係は考えられるでしょうか。	石川委員	審議会でご説明します。	人権・男女共同参画課
61	配偶者暴力相談支援センターの運営	・コロナでDVは増えたと言えるでしょうか。相談件数増加についての実感をお聞かせください。	石川委員	審議会でご説明します。	人権・男女共同参画課
全体	新型コロナウイルス感染症への対応（事業実施の工夫、今後の活用）	・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を実施する上で工夫したことや今後活かしていきたいことを聞きたい。	石川委員	審議会でご説明します。 <産業立地課> ・事業No.15のYouTube配信によるオンラインセミナーの開催について <学校教育課> ・事業No.6男女共同参画に関するオンライン講義の開催及び講義動画の活用について	産業立地課 学校教育課
全体	ひとり親家庭への支援	・新型コロナウイルス感染症による経済的影響を受けやすいひとり親家庭への支援の取組みについて聞きたい。	石川委員	審議会でご説明します。 <生活支援課> ・事業No.28、29、30の取組みについて <子ども・子育て課> ・こども食堂やフードバンクの取組みについて	生活支援課 子ども・子育て課

「第2次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答一覧

No.	事業名等	質問	委員名	回答	推進課
全体	ヤングケアラーについて	・長岡市の「ヤングケアラー」に関するデータや取り組み事例はありますか。コロナウイルス禍で見えてきた問題でしょうか、以前からあったことと思います。どの部署で対応するのでしょうか。	樋熊委員	・ヤングケアラーについては、周囲から認知されにくく、社会的孤立につながる重要な課題と認識しております。 今年4月、国が初めて行った実態調査が公表されたところで、市として、データや事例を把握できておりませんが、今後、国の取組みを注視しながら、市の対策を検討したいと考えております。	人権・男女共同参画課